

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください  
専大スポーツ編集部 web(http://sensupo.com/) 専大結果を配信します

# 専大スポーツ

No.345

## サッカー・関東大学リーグ戦



▲ 出場選手、スタンドが一体となって快挙を祝う＝撮影・斉藤葵

# 4連覇達成

# 56年ぶり史上4校目

関東大学サッカーリーグ戦の全日程が11月16日に終了した。専大は14勝3敗5分で勝ち点47(得失点差29)を獲得。2位の明大と勝ち点で並んだが得失点差で上回り、1955、58年の早大以来56年ぶり史上4校目の4連覇を達成した。

今シーズンは後期の失(商4・日体佐原高)の負傷離脱などさまざまな困難に直面した。リーグは混戦となり、最終節(11月15、16日)を前に1、3位までの勝ち点差がわずかに2.15日に明大が勝利し、勝ち点47で暫定首位となり、2位の専大は16日、優勝をかけた大一番に臨んだ。引き分けでは許されない中、重圧に耐えながら、3-0で順大に快勝。優勝を勝ち取った。

最終ラインからチームを鼓舞し続けた北爪健吾(法4・前橋育英高)は「特に後期は例年以上に苦しいが、それがチームの成長のきっかけとなった。」

MVP	前澤甲気(経営4・清水商高)
ベストゴール	仲川輝人(商4・日体佐原高)
ベストイレブン	GK 福島春樹(法3・静岡学園高)
	DF 北爪健吾(法4・前橋育英高)
	MF 北出雄星(経済3・日大鶴ヶ丘高)
	FW 前澤甲気
最多出場	北爪健吾 / 仲川輝人
フェアプレー賞	専修大学

つて、しっかりと最後まで勝てたことがよかった。自分は4連覇のプレッシャーを感じていたが、周りの部員は気負うことなく、頼もしかった」と語った。河津良一主将(文4・岡山県作陽高)も「これまでいい先輩方に恵まれていた。自分たちだけでは成し遂げられなかったことだ。今シーズンは難しい試合が多かったが、試合に出た選手、出られなかった選手、全員が協力してくれた。感謝したい」と4年間を振り返った。

### 大学日本一へ

4連覇は達成された。次に目指すは全日本大学選手権(インカレ)12月11、21日、味の素フィールド・西が丘ほか)の頂上。

## FW 前澤がMVP

関東大学リーグ戦の個性を記録するなど、攻撃陣をけん引したFW前澤甲気がMVPに輝いた。



▶ 攻撃の要として最終節でも活躍した前澤＝撮影・岡野

### DF北爪 ジェフ千葉入団



DF北爪健吾(写真)連覇や2011年のインカレ初優勝に大きく貢献した。フィジカル原・千葉への入団が発表された。1年次から、大学ナンバーワンのレギュラーとして出場。リーグ戦4回をこなしている。

各ポジションでベストイレブンに選出されるなど8人(重複含む)が受賞。チームとしてもフェアプレー賞に選ばれた。前澤は「受賞できたのも支えてくれる人、みんなのおかげ。感謝とうれしさにあふれている。また試合を見に来てくれてる人にも本当に感謝している」と喜びをかみ締めた。

一方で、「現状に満足せず、これからもっと向上を誓った。」



### レスリング・全日本大学選手権

▶ 学生2冠を獲得した中村(左)

## フリー 57kg級 中村がV インカレと2冠

11月12、13日に全日本大学レスリング選手権が駒沢体育館で行われ、男子フリースタイル57kg級で中村倫也(商2・花咲徳栄高)が優勝。8月の全日本学生選手権と合わせて2冠を獲得した。

決勝では世界選手権日本代表の高橋侑希(山梨学院大)と対戦。前半はなかなか自分のペースをつかめずいたが、徐々に「相手をつまづかせる」に「相手をうまく疲れさせた」中村は、後半に巻き返し3-1で勝利した。「天皇杯(全日本選手権)でも優勝し、リオデジャネイロ五輪につなげたい」と更なる高みを目指す。

また、65kg級では原田駿(商3・島原高)、97kg級で栗田真最(文3・小諸高)がそれぞれ3位に入賞。大学対抗戦では5位となった。

(斉藤葵・商1)写真も

## 1000㌔1、2戦 近藤が連勝 1500㌔2、3戦

### スピードスケート・ジャパンカップ

と振り返った。続く第2戦(11月29、30日、岩手県宮沢スケート場)では1000㌔と1500㌔の2種目で優勝。第3戦(12月6、7日、山梨県セイコーバネー)では1000㌔と1500㌔の2種目で優勝した。

近藤は日本人には珍しい、柔らかい滑りが特徴だが「スタートダッシュを見直し、氷を長く押し出していくような大きい」とレース展開のポイントを語った。また、第2戦では5000㌔でも3位に入賞した。



▶ 優勝を重ねる近藤＝川口ひろし氏提供

### 土屋が6位

WC第2戦 マスターズ

ワールドカップ第2戦のソウル大会(11月21、23日、韓国・ソウル)に日本代表として出場した土屋良輔(経営2・孺恋高)はマスターズで6位と健闘した。

(岡野希春・経済2)